

令和 3 年度

幼保連携型認定こども園
愛媛星岡幼稚園

幼保連携型認定こども園
愛媛幼稚園

自己点検・自己評価
学校関係者評価
報告書

令和3年度

幼保連携型認定こども園
愛媛幼稚園

自己点検・自己評価
学校関係者評価
報告書

令和3年度 自己評価結果報告書

幼保連携型認定こども園 愛媛星岡幼稚園

1. 本園の教育目標

【心身共に健康で、明るく、思いやりを持って友達とともに行動できる子どもを育てる。】

本園は、園児の健全な成長・発達をはかることを目的としている。行事、遊びを通じた様々な体験、音楽、体育、自由画などの情操教育、自然と触れ合う楽しい保育、適切な時期に適切な5領域教育としつけを行うことにより園児の好奇心を導き出し、園児の関心を満たし、保育教諭や友達との関わりの中から、社会性を学び、生きるための知能や感性を獲得して行くことが一番と考える。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

○環境の工夫（子どもの主体性を大切に考え尊重し、興味関心を十分満たしていけるような環境構成の工夫を図る。）

○保育内容の充実（子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。）

- ・ 日々の保育の中でのエピソードなどから、子どもの育ちを捉え振り返り、翌日の保育へと繋げていく。
- ・ 子どもの実態を基に、各種指導計画を作成する。
- ・ 発達段階を捉え、無理のない計画を立てる。

○感染症対策、衛生管理の徹底

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、日々の手洗いの徹底やマスク着用等新たな生活習慣・生活リズムを確立していく。

3. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年に続き、新型コロナウイルス感染対策に努め、園児の安全を最優先に考え、保育を行ってきた。行事等の変更、中止などにより子ども達の期待にどのように答えていくか、各々自問自答しながらも、職員間で連携し一つずつ答えを導き出すことができたように思う。

4. 今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|----------------|--|
| 園内研修の充実 | 一人ひとりが向上心と意欲を持って保育に携わることができるよう、保育計画を作成、実行、評価に繋げる。 |
| 感染症の予防 衛生管理 | 新型コロナウイルスを含む各種感染症の予防や感染拡大防止に努める。その為にも正しい知識を身に付け、職員間で情報収集を図る。 |

I 教育・保育計画・方針について

| | 評価項目 | はい | いいえ | わからない | 無回答 |
|---|---|----|-----|-------|-----|
| 1 | 園の教育理念や、教育方針を理解している。 | 33 | | | |
| 2 | 園の教育方針に共感している。 | 33 | | | |
| 3 | 園の目指す幼児の姿を自分なりにイメージできる。 | 33 | | | |
| 4 | 指導計画は教育要領・教育課程・乳幼児の実態などをもとに考えて作成している。 | 28 | | 4 | 1 |
| 5 | 幼児が主体的に活動できるような環境構成をしている。 | 31 | | 1 | 1 |
| 6 | 季節、行事を通して、乳幼児の発達に即した経験ができるように、計画をたてている。 | 32 | | | 1 |
| 7 | 乳幼児が安全で心地よく過ごすことができる環境を整えている。 | 33 | | | |

II 保育の在り方・乳幼児への対応

| | | | | | |
|----|---|----|--|--|--|
| 8 | 一人ひとりの乳幼児をよく観察するようにこころがけている。 | 33 | | | |
| 9 | 子どもをよく理解し、一人ひとりの性格や、特性などに配慮しながら指導している。 | 33 | | | |
| 10 | 基本的な生活習慣や、生理現象に関しては、一人ひとりの乳幼児の状況に応じて対応している。 | 33 | | | |
| 11 | 乳幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている。 | 33 | | | |
| 12 | 乳幼児のことについて、保育教諭間での話し合いを持ち情報を共有している。 | 33 | | | |

III 保育教諭としての資質や能力・適正

| | | | | | |
|----|----------------------------------|----|--|--|--|
| 13 | 保育教諭としての専門知識や技能を身につけている。 | 33 | | | |
| 14 | 乳幼児や保護者との対応には公平を欠かさないようにしている。 | 33 | | | |
| 15 | 職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。 | 33 | | | |
| 16 | 生活や遊びを通して、数・量の感覚が身につくよう工夫している。 | 33 | | | |

IV 保護者への対応

| | 評価項目 | はい | いいえ | わからない | 無回答 |
|----|---|----|-----|-------|-----|
| 17 | 個々の子どもの様子は、直接話をしたり、電話・連絡帳などを使って伝えあっている。 | 33 | | | |
| 18 | 保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については | 33 | | | |

| | | | | | |
|----|--|----|--|--|--|
| | 園の方針にしたがっている。 | | | | |
| 19 | 保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長・副園長に連絡、報告、相談している。 | 33 | | | |
| 20 | 保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については容易に受けたり、断ったり、無視しないで園長や副園長、主幹保育教諭に報告や相談をしている。 | 33 | | | |
| 21 | 園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや、会話を心がけている。 | 33 | | | |

V 研修と研究

| | | | | | |
|----|---|----|---|---|---|
| 22 | 研修会や研究会に参加する際には、自分なりの目標をもって臨み、学習したものを報告書にまとめ提出している。 | 26 | 1 | 4 | 2 |
| 23 | 自分の保育については、自己課題をもって計画と反省をおこなっている。 | 33 | | | |
| 24 | 研修に参加し、学習を通して、自身の保育に役立てている。 | 27 | 1 | 3 | 2 |
| 25 | 絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。 | 33 | | | |
| 26 | アレルギー、自立の遅れなどが見られた場合、個々に応じた配慮や対応をおこなっている。 | 33 | | | |
| 27 | 趣味、人とのかかわりなど、うるおいのある生活を心がけている。 | 32 | | 1 | |

VI 食育・保健・環境

| | | | | | |
|----|---|----|--|--|--|
| 28 | 食事のマナーを知り、守って楽しく食事ができる環境作りを行っている。 | 33 | | | |
| 29 | いろいろな食材に興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫している。 | 33 | | | |
| 30 | 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮している。 | 33 | | | |

【成果】

- ・まだまだコロナ対策が必要とされる中で、異年齢が集まる預かり保育では、特に気を付けている。
- ・コロナ対策として、預かり保育の部屋を分け、一部屋の人数を少なくした事で、感染対策だけでなく、子ども達とゆったり関わられたり、子ども達自身も落ち着いて過ごせたりしたように思う。
- ・配慮が必要な園児もおり、一人一人としっかり向き合い、信頼関係を築いたり、連携を取ったり様々な方法で関わった。上手くいかず悩んだ事もあったが実践していく中で、個々にあった導き方が分かり、園児も心を開いてくれたように思う。
- ・難しいと思う事や失敗する事が多くあったが、反省や次に活かせるよう相談する大切さ、他の先生の保育を見て学び、実践することの大切さを改めて感じた。
- ・先輩の先生方の保育を学んだり、実際活動を行ったりする機会を設けてもらえた事で、自分の改善点・良い点など沢山身に付けたり考えたりできている。
- ・勉強不足なところもあり、声掛けの仕方など迷う場面に直面するが、問題解決に向けて、自分なりに実践し、先輩保育教諭とも話し合うようにしている。
- ・一人一人の性格を知り、個々に応じた関わりを行う事で、少しずつ信頼関係が築け、クラスのまとまりへと繋がって来ているように感じる。
- ・一人一人の子どもに合わせた保育を心掛けて、慣れない子ども達が不安にならないよう配慮し、安心して過ごせるようにしてきた。
- ・「園児と共に楽しみながら取り組む」ことを心掛けている。
- ・一人一人の性格や特性など配慮しながら保育を行った。また、職員間で子どもについて話し合い、共通理解を行う事で保護者の方が安心して預けられる保育が行えたと思う。
- ・同じ理由で泣いていても、今日の対応・関わり方が上手くいっても、明日同じかかわり方でうまくいくとは限らない。特に低年齢児は、決まった方法だけでなく様々な事を視野に入れ、その都度関わり方を工夫する必要があるが、担任同士で話し合い、情報を共有しながら、その時その子に合った保育をすることが出来た。
- ・月齢差・性格・家庭環境などによって個々の発達が変わってくる事を考えながら、一人一人に合った関わり方をするよう心掛けてきた。

【課題】

- ・職員間の連携を大切にしていきたい。
- ・個々に応じた配慮や対応を心掛け職員との意見交換を大切にし、自分の保育を見つめ改善しながら、より良い保育が出来るようにしたい。
- ・手遊びのレパートリーをもっと増やしたい。
- ・個々の子どもの様子をしっかりと把握してその都度話し合い、過ごしやすくなるような関わりを見つけていきたい。
- ・この1年で学んだことを活かし、子ども・保護者ともに安心して園生活を送れるような保育が出来るよう頑張りたい。
- ・一人一人としっかり向き合い、安心して楽しく園生活を送ってもらう為にも、改めて日々の保育を見つめ直し、周りの先生方の力も借りながら今後も保育していきたい。
- ・子ども達の成長の中で、個々に向き合い理解し時間をかけて話をしていく事をもっと大事にしていきたい。
- ・今まで経験して良かった点は引き続き頑張り、反省点は少しでも改善して保育が出来るように努めたい。また、自分自身が余裕を持つことで、子ども達も落ち着いて園生活を過ごせると思うので、頑張っていきたい。
- ・まだまだ一人一人との会話が足りていないように思うので、しっかり話す時間を取ったり子どものつぶやきに耳を傾けたりして深めていきたい。
- ・日々勉強で、アンテナをはり、子どもと共に成長していきたい。
- ・子ども達が主体的に活動できるような環境構成をしていきたい。
- ・専門的な知識をもっと深め、保護者に安心して相談してもらえるよう努力していきたい。
- ・新しい事も子ども達にとってどう大切なのか考えながら取り入れていけるよう今後も引き続き心掛けていきたい。

令和3年度 幼保連携型認定こども園 愛媛幼稚園

学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員

松山市三番町 民生委員

学校法人 愛媛幼稚園評議員 一級建築士

幼保連携型認定こども園 愛媛幼稚園 PTA 役員会会長

幼保連携型認定こども園 愛媛幼稚園 PTA 役員会副会長

幼保連携型認定こども園 愛媛幼稚園 園長

幼保連携型認定こども園 愛媛幼稚園 副園長

学校法人 愛媛幼稚園 理事長

第1回 学校関係者評価委員会

日時 令和3年11月26日（金）

方法 新型コロナウイルス感染者の増加により、多人数での会議をひかえ、メールおよび書面により情報交換し、意見を集約した。

参加委員 7名中7名

議題 自己点検・自己評価に使用するアンケート項目の検討・承認

自己点検・自己評価に使用するアンケート項目について各委員に検討をお願いした。委員全員からアンケート項目の承認が得られた。

第2回 学校評価委員会

日時 令和4年3月

方法 新型コロナウイルス感染者の増加に伴い愛媛県より「オミクロン株特別警戒期間」とされたため、事前に渡された資料に基づいて、書面により意見を表明した。

参加委員 7名中7名

議題 自己点検・自己評価の結果について及び他のご意見

- ・保育教諭が、様々な事に一生懸命取り組んでいて良い。
- ・子ども達の事をしっかり考えて頂いて安心して登園させられる。
- ・自己点検・自己評価の結果について、昨年よりも「成果と課題」の記入率が上がった。保育教諭自身の自己評価の意識も上がってきているのではないかと感じる。

令和3年度

幼保連携型認定こども園
愛媛星岡幼稚園

自己点検・自己評価
学校関係者評価
報告書

令和3年度 自己評価結果報告書

幼保連携型認定こども園 愛媛星岡幼稚園

1. 本園の教育目標

【心身共に健康で、明るく、思いやりを持って友達とともに行動できる子どもを育てる。】

本園は、園児の健全な成長・発達をはかることを目的としている。行事、遊びを通じた様々な体験、音楽、体育、自由画などの情操教育、自然と触れ合う楽しい保育、適切な時期に適切な5領域教育としつけを行うことにより園児の好奇心を導き出し、園児の関心を満たし、保育教諭や友達との関わりの中から、社会性を学び、生きるための知能や感性を獲得して行くことが一番と考える。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

○環境の工夫（子どもの主体性を大切に考え尊重し、興味関心を十分満たしていけるような環境構成の工夫を図る。）

○保育内容の充実（子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。）

- ・ 日々の保育の中でのエピソードなどから、子どもの育ちを捉え振り返り、翌日の保育へと繋げていく。
- ・ 子どもの実態を基に、各種指導計画を作成する。
- ・ 発達段階を捉え、無理のない計画を立てる。

○感染症対策、衛生管理の徹底

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、日々の手洗いの徹底やマスク着用等新たな生活習慣・生活リズムを確立していく。

3. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年に続き、新型コロナウイルス感染対策に努め、園児の安全を最優先に考え、保育を行ってきた。行事等の変更、中止などにより子ども達の期待にどのように答えていくか、各々自問自答しながらも、職員間で連携し一つずつ答えを導き出すことができたように思う。

4. 今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|----------------|--|
| 園内研修の充実 | 一人ひとりが向上心と意欲を持って保育に携わることができるよう、保育計画を作成、実行、評価に繋げる。 |
| 感染症の予防 衛生管理 | 新型コロナウイルスを含む各種感染症の予防や感染拡大防止に努める。その為にも正しい知識を身に付け、職員間で情報収集を図る。 |

Ⅰ 教育・保育計画・方針について

| | 評価項目 | はい | いいえ | わからない | 無回答 |
|---|--|----|-----|-------|-----|
| 1 | 園の教育理念や、教育方針を理解している。 | 54 | | | |
| 2 | 園の教育方針に共感している。 | 54 | | | |
| 3 | 園の目指す幼児の姿を自分なりにイメージできる。 | 54 | | | |
| 4 | 指導計画は教育要領・教育課程・乳幼児の実態などをもとに考えて作成している。 | 52 | | 2 | |
| 5 | 幼児が主体的に活動できるような環境構成をしている。 | 54 | | | |
| 6 | 季節、行事を通して、幼児の発達に即した経験ができるように、計画をたてている。 | 54 | | | |
| 7 | 乳幼児が安全で心地よく過ごすことができる環境を整えている。 | 54 | | | |

Ⅱ 保育の在り方・乳幼児への対応

| | | | | | |
|----|---|----|--|---|--|
| 8 | 一人ひとりの乳幼児をよく観察するようにこころがけている。 | 54 | | | |
| 9 | 子どもをよく理解し、一人ひとりの性格や、特性などに配慮しながら指導している。 | 53 | | 1 | |
| 10 | 基本的な生活習慣や、生理現象に関しては、一人ひとりの乳幼児の状況に応じて対応している。 | 54 | | | |
| 11 | 乳幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている。 | 54 | | | |
| 12 | 乳幼児のことについて、保育教諭間での話し合いを持ち情報を共有している。 | 54 | | | |

Ⅲ 保育教諭としての資質や能力・適正

| | | | | | |
|----|----------------------------------|----|--|---|--|
| 13 | 保育教諭としての専門知識や技能を身につけている。 | 50 | | 4 | |
| 14 | 乳幼児や保護者との対応には公平を欠かさないようにしている。 | 54 | | | |
| 15 | 職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。 | 54 | | | |
| 16 | 生活や遊びを通して、数・量の感覚が身につくよう工夫している。 | 53 | | 1 | |

Ⅳ 保護者への対応

| | 評価項目 | はい | いいえ | わからない | 無回答 |
|----|---------------------------|----|-----|-------|-----|
| 17 | 個々の子どもの様子は、直接話をしたり、電話・連絡帳 | 54 | | | |

| | | | | | |
|----|--|----|--|--|--|
| | などを使って伝えあっている。 | | | | |
| 18 | 保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている。 | 54 | | | |
| 19 | 保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長・副園長に連絡、報告、相談している。 | 54 | | | |
| 20 | 保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については容易に受けたり、断ったり、無視しないで園長や副園長、主幹保育教諭に報告や相談をしている。 | 54 | | | |
| 21 | 園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや、会話を心がけている。 | 54 | | | |

V 研修と研究

| | | | | | |
|----|---|----|--|---|--|
| 22 | 研修会や研究会に参加する際には、自分なりの目標をもって臨み、学習したものを報告書にまとめ提出している。 | 53 | | 1 | |
| 23 | 自分の保育については、自己課題をもって計画と反省をおこなっている。 | 54 | | | |
| 24 | 研修に参加し、学習を通して、自身の保育に役立てている。 | 52 | | 2 | |
| 25 | 絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている。 | 54 | | | |
| 26 | アレルギー、自立の遅れなどが見られた場合、個々に応じた配慮や対応をおこなっている。 | 54 | | | |
| 27 | 趣味、人とのかかわりなど、うるおいのある生活を心がけている。 | 53 | | 1 | |

VI 食育・保健・環境

| | | | | | |
|----|---|----|--|---|--|
| 28 | 食事のマナーを知り、守って楽しく食事ができる環境作りを行っている。 | 54 | | | |
| 29 | いろいろな食材に興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫している。 | 52 | | 2 | |
| 30 | 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮している。 | 55 | | | |

VII 成果と課題

- ・ 状況が変化するコロナ禍の保育ではあるが、クラスの担任として出来ることは何か考え、保育教諭間で話し合い、行事や活動の様子を進めることが出来たと思う。子ども達の興味・関心・能力を見極め、寄り添った保育ができるよう頑張りたい。
- ・ 皆が元気に登園し、元気に降園することに日々安堵する。今後も引き続き感染予防を徹底していきたい。
- ・ 毎日計画的にカリキュラムを進めることができた。行事等により、子ども達を急がせてしまう時もあった為、今後は臨機応変に対応し無理なく進めていきたい。子ども達の成長を保護者との連絡を通して感じることができた。
- ・ 職員間で連携し保育ができたと思う。その時、その状況ですべきことをきちんと判断し、今後も保育をおこないたい。もっと知識をつけ、保育の質を上げられるよう努力したい。
- ・ 自身の仕事に余裕をもたせ、日常保育も心に余裕をもてるようにしていきたい。
- ・ 子ども達のありのままの姿を受け止めながらより成長できるよう関わっていきたい。
- ・ 一人一人に合った配慮や援助を工夫していくことができるよう、学びを深めていきたい。
- ・ 保護者対応について、伝え方や話し方等十分気をつけていきたい。
- ・ 子ども達が毎日活発に過ごす喜びを感じている。怪我のないように気を付け、見守っていきたい。
- ・ 昨年度の反省を活かしながら、活動や取組みへの導入を工夫したり、少しでも多く遊びの提案ができるように努めた。
- ・ 感染予防の為、保護者と話す機会が減ったので、会った時には様子を伝えたり、連絡ノートを書く機会には分かりやすく書き、コミュニケーションを図っていった。
- ・ 職員間では、相談しながらもそれぞれが意見発言し、より良い結果を出し、皆が意識統一することができた。
- ・ 対面での研修には参加できなかったものの、リモート研修を通して他園の先生方を身近に感じ、意見を交換したり、専門性を高めることができたように思う。
- ・ 次年度においても、園全体で協力し、子ども達の成長をサポートしていきたい。
- ・ バス通園のクラスなので、保護者に会う機会が少ない為、気になること等その都度、電話やノートでお伝えしてきた。しかし、もう少し具体的に様子を話すよう気を付けていきたい。
- ・ 子どもから教えられ、学ぶことが多かった。
- ・ 保育をしていく中で、言葉選びや時間配分等、様々な面から反省点もたくさんある。今後に繋げていきたい。
- ・ 何事にも意欲をもち取り組んでくれる子ども達を見て、自分自身も教える楽しさを感じ、共に楽しく進めることができた。
- ・ 関わり方の難しさを感じたので、様々な関わりを意識し、自分の成長に繋げていきたい。
- ・ 視野が狭くなっていることがあるので、広い視野をもって保育を行いたい。
- ・ 個々に合わせた丁寧な指導を行い、生活習慣が身に付くようにしていきたい。
- ・ 子どもの年齢に合わせた声掛けや援助ができていないと感じることがあったので、見通しをもって保育をするようにしたいと思う。
- ・ 手洗い、消毒、マスクの着用をこまめに声かけして徹底してきた。年齢的なこともあると思うが、黙食の難しさを感じた。改めて意識し、実施できるようにしていきたい。
- ・ 一人一人の成長、性格、経験の差などの違いを感じたので、より個別に合わせたかかわりを考え、大切にしてきた。自信となるようこれからも関わっていきたい。
- ・ 子ども達が安心して園生活を送れるように心がけた。行事など内容を変更したり、延期になったりする際には、その時々で出来る範囲の中で、最善の方法を保育教諭間で話し合った。子ども達が楽しく参加する姿を

目にすることができた。

- ・ 園児が安全にバスに乗れるよう、掃除、消毒等環境整備等行ってきた。今後の課題として、研修参加において積極的に意見を述べていきたい。
- ・ 子どもとの関わりを通して、声掛け、援助の必要性の見極めが出来てきたことが成果の一つであり、課題としては、迷いが多く、慌ててしまうことが多かったので、聞くことを大切に自身の成長に繋げていきたい。
- ・ 他の保育教諭の園児への声かけや、対応をしっかりと観察し、取り入れていきたい。
- ・ 報告・連絡・相談、どんな些細なことでも大切だということをバスの送迎やクラス研修で学んだ。
- ・ 保護者との関係において、信頼関係の構築や子どもの成長を共有しあうことができた。課題は、保育以外の業務においても、自分で考え周囲が気持ちよく過ごせるように先を想像して行動することが大切だと感じた。
- ・ 一時預かり保育は、日によって利用児がかわる為、安心して一日を過ごせるよう、子どもに寄り添いながら関わっていった。今後も様々な点に配慮しながら保育していきたい。
- ・ 他クラスでの保育補助にも入り、様々な面で学びの1年であった。保育教諭の言葉掛けや、援助の仕方を見て学び、保育する喜びを改めて感じる事ができた。昨日まで出来なかったことができるようになり、日々の成長を感じた。
- ・ 子ども達と笑顔で楽しく過ごしながらも、園庭などの様子、人間関係等、気を付けて見ていく事でその場で対応できるうにし、危険のないように努めた。
- ・ 月齢差が幅広い子ども達が一緒に生活するうえで、落ち着いて過ごせる環境を整え、保育教諭同士の連携がとり合えるよう話し合っていきたい。
- ・ 子ども達が安心してすごせる雰囲気作りを大切に、保育教諭間で様々な情報収集しながら楽しんでもらえるようにしていきたい。
- ・ コロナ禍ということもあり、親子共々にマスクでの対面であり、表情を読み取って会話をすることの難しさを感じた。園の様子、家庭での様子など、会話でのコミュニケーションを多く取りたいと感じた。

令和3年度 幼保連携型認定こども園 愛媛星岡幼稚園

学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員

星岡町前町内会長

学校法人 愛媛幼稚園評議員、一級建築士

幼保連携型認定こども園 愛媛星岡幼稚園 PTA 役員会会長

幼保連携型認定こども園 愛媛星岡幼稚園 PTA 役員会福会長

幼保連携型認定こども園 愛媛星岡幼稚園 園長

幼保連携型認定こども園 愛媛星岡幼稚園 副園長

学校法人 愛媛幼稚園 理事長

第1回 学校関係者評価委員会

日時 令和3年11月9日（火）

方法 新型コロナウイルス感染者の増加により、多人数での会議をひかえメールおよび書面により情報交換し、意見を集約した。

参加委員 7名中7名

議題 自己点検・自己評価に使用するアンケート項目の検討・承認

自己点検・自己評価に使用するアンケート項目について各委員に検討をお願いした。委員全員からアンケート項目の承認が得られた。

第2回学校評価委員会

日時 令和4年3月

方法 新型コロナウイルス感染者の増加により愛媛県より「オミクロン株特別警戒期間」とされたため、事前に渡された資料に基づいて、書面により意見を表明した。

参加委員 7名中7名

議題 自己点検・自己評価の結果について及び他のご意見

- ・ 保育教諭が丁寧に子ども達を見てくれていると感じる。
- ・ コロナ禍で保育をおこなうのも大変であったと思われるが、日々感染対策に努め園児の安全を最優先に考えていただいた。行事等中止となり残念ではあったが、このような状況下なのでやむを得ないと思う。実施していただいた行事においては、とても工夫されていたと思う。
- ・ 自己点検・自己評価の結果においては、年ごとに改善がみられている。
また衛生面においての意識は新型コロナウイルスに対する対策とともに高まっていると感じられる。園での指導が非常に印象に残るようで、マスク、手洗いは親が言わなくてもできるようになっており、安全・健康教育として重要と感じた。
- ・ コロナ禍で、役員等の集まりも思うようにできなかった。今後もこのような生活は続くと思われるので、会長・副会長以外で、年長役員の中からお金の管理をして頂く会計を1名選出してもいいのではないかと是非検討いただきたい。

前町内会長様より下記の文書をいただきました

平素は、積極的に乳幼児に対応して、保育・教育に熱心に取り組み成果をあげられておられることに心から敬意を表します。

口コミ評価 3票 ・園内がおしゃれで清潔である。

職員 保育の先生が優しく笑顔で対応。

・園の知名度 人気が高い。

園育成、自由に楽しめる園である。

元気に育つ幼稚園である。

遊びや楽しいイベントが沢山ある。

子どもが成長できる行事が沢山ある幼稚園。

音楽などいろいろなこと

園児は、笑顔一杯、元気一杯、楽しくのびのび対応している。

自己点検・自己評価 それぞれの課題に対応している。

今後の課題 先生の力量をどのように解消していくか。

出来事の反省と共有の仕方をよく話し合う。

日常 園内でのクレームの対応についてよく話し合

い、その都度解決するようにする。

以上